17. 献血

少子高齢化の進行に伴う献血可能人口の減少や若年層の献血離れ等の影響もあり、献血者数は全国的に減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成 15 年 7 月に施行された。

この法律に基づき、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

(1)献血者数

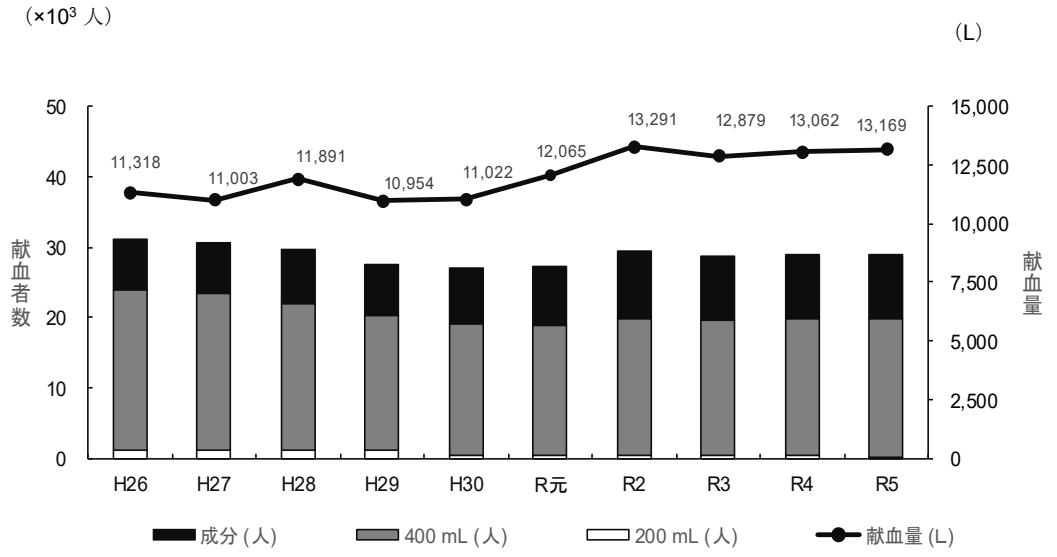
令和５年度の献血者数は 28,854 人であり前年度より 0.1%減、献血量は 13,169 リットルであり 0.8%増であった。

なお、過去 10 年間の献血者数及び献血量は下記のとおりである。

○年度別献血状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	前年比	構成比	R5年度目標値
200 mL (人)	1,026	1,069	1,146	991	458	404	493	421	280	257	91.8%	0.9%	124
400 mL (人)	22,869	22,308	20,904	19,394	18,632	18,542	19,227	19,155	19,651	19,480	99.1%	67.5%	19,301
成分 (人)	7,088	7,278	7,657	7,137	7,842	8,203	9,707	9,048	8,966	9,117	101.7%	31.6%	8,909
計 (人)	30,983	30,655	29,707	27,522	26,932	27,149	29,427	28,624	28,897	28,854	99.9%		28,334
献血量 (L)	11,318	11,003	11,891	10,954	11,022	12,065	13,291	12,879	13,062	13,169	100.8%		12,719

○献血者数と献血量の推移



(2)献血適格率等の状況

令和５年度の献血申込者のうち、献血ができなかった人数は2,046人で、申込者のうち6.6%を占めた。

そのうち、血液比重の不足により献血ができなかった申込者の男女比は、男性0.8%に対して女性7.1%となっているが、これは男女の赤血球数の違いによる影響が大きい。

令和5年度の献血申込者数と献血ができなかった人数

		申込者数	献血ができなかった者						献血者数	
			比重不足		その他		計			
			人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
男（人）	200mL	34	0	0.0	3	8.8	3	8.8	31	91.2
	400mL	14,076	102	0.7	506	3.6	608	4.3	13,468	95.7
	血漿	4,230	46	1.1	107	2.5	153	3.6	4,077	96.4
	血小板	2,390	17	0.7	83	3.5	100	4.2	2,290	95.8
	計	20,730	165	0.8	699	3.4	864	4.2	19,866	95.8
女（人）	200mL	267	10	3.7	31	11.6	41	15.4	226	84.6
	400mL	6,918	576	8.3	330	4.8	906	13.1	6,012	86.9
	血漿	2,782	133	4.8	90	3.2	223	8.0	2,559	92.0
	血小板	203	8	3.9	4	2.0	12	5.9	191	94.1
	計	10,170	727	7.1	455	4.5	1,182	11.6	8,988	88.4
合計（人）	200mL	301	10	3.3	34	11.3	44	14.6	257	85.4
	400mL	20,994	678	3.2	836	4.0	1,514	7.2	19,480	92.8
	血漿	7,012	179	2.6	197	2.8	376	5.4	6,636	94.6
	血小板	2,593	25	1.0	87	3.4	112	4.3	2,481	95.7
	計	30,900	892	2.9	1,154	3.7	2,046	6.6	28,854	93.4

(3)性別・年代別からみた献血者の状況

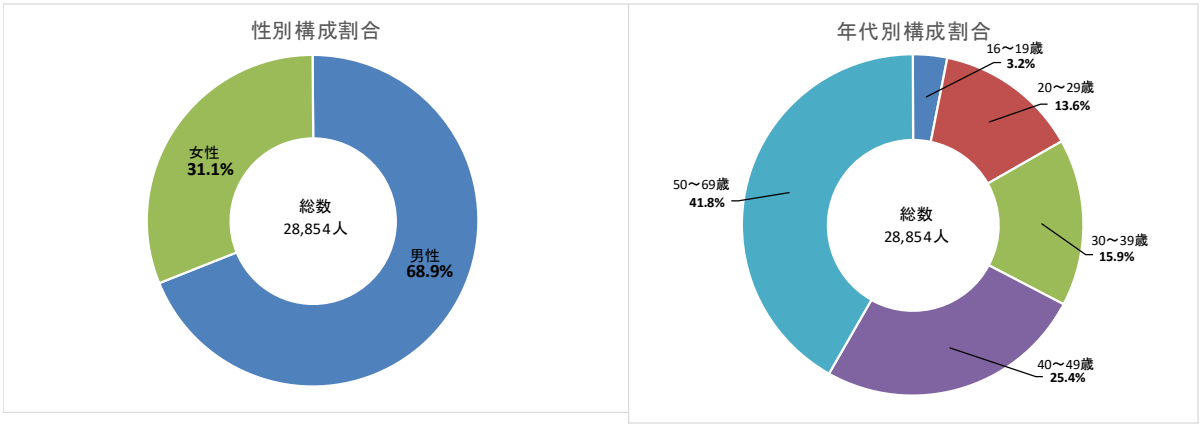
献血者の性別の構成割合は、男性 68.9%、女性 31.1%となっている。また、年代別でみると、50-69 歳代の献血者の割合が 41.8%と多くを占めている。

○令和5年度　性別・年代別献血者数

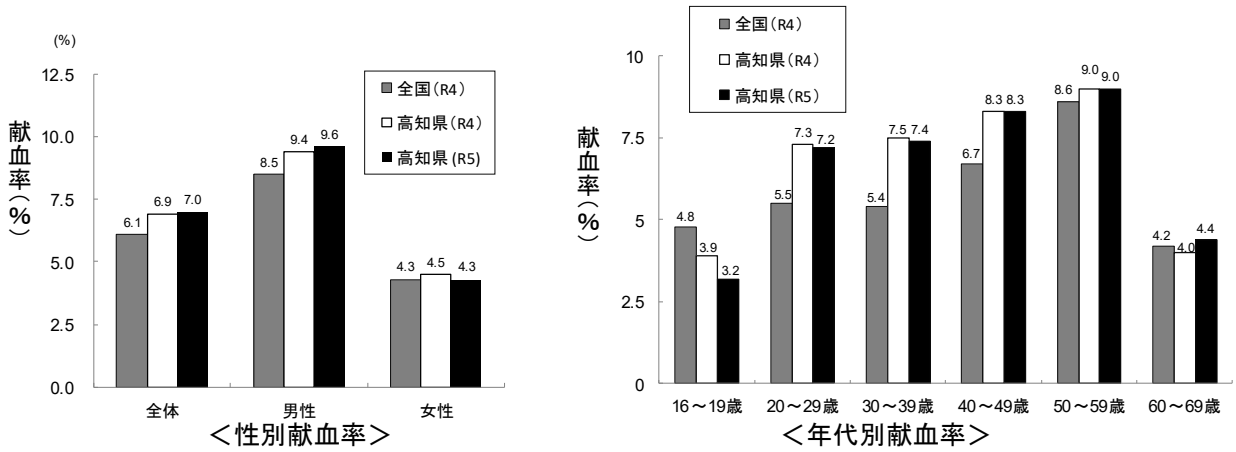
（単位:人）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200 mL	15	67	7	67	0	21	2	22	7	49	31	226	257
400 mL	439	261	1,931	967	2,194	924	3,318	1,441	5,586	2,419	13,468	6,012	19,480
血漿	53	77	344	405	569	510	1,083	642	2,028	925	4,077	2,559	6,636
血小板	24	1	192	12	319	41	750	82	1,005	55	2,290	191	2,481
合　計	531	406	2,474	1,451	3,082	1,496	5,153	2,187	8,626	3,448	19,866	8,988	28,854

○令和5年度　性別、年代別献血者構成割合



＜性別構成割合＞　　＜年代別構成割合＞



＜性別献血率＞　　＜年代別献血率＞

（注１）令和４年度（令和４年４月から令和５年３月）の献血者による献血率は、日本赤十字社血液事業「血液事業年度報（令和４年度）」掲載データを利用

（注２）本県における令和５年度の献血率の算定に使用した人口は、総務省 HP にて公開中の「令和５年１月１日住民基本台帳年齢階級別人口（都道府県別）（総計）」を使用。なお、16～19 歳の献血率は、15～19 歳人口を用いて算出

（注３）令和５年の献血率（全国平均値）は、データが公表されていないため掲載なし

(4)血液製剤供給量の推移

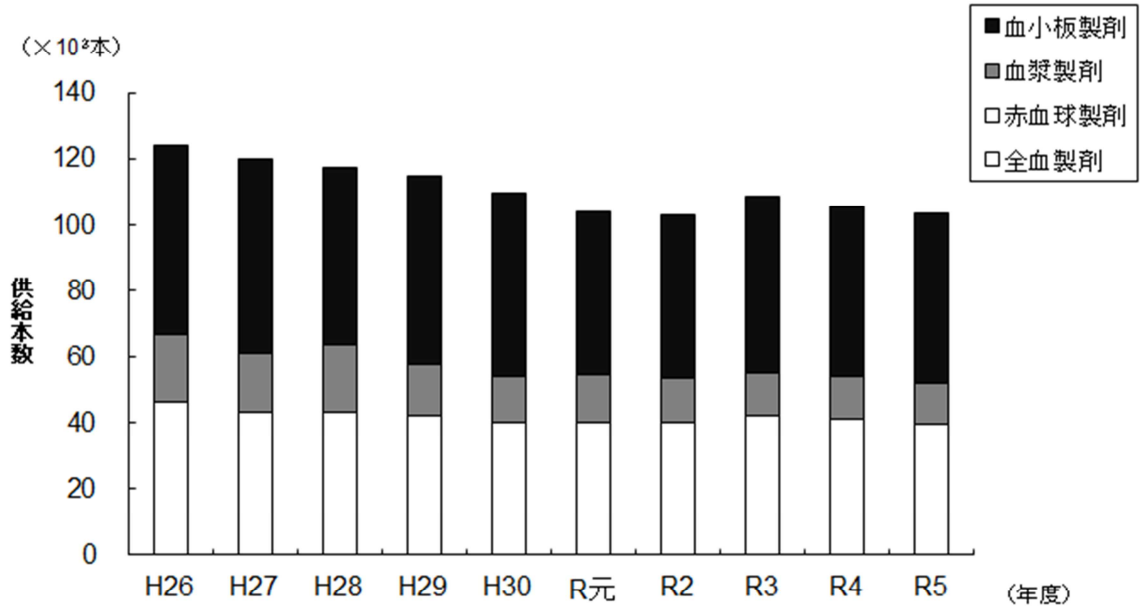
令和５年度は成分製剤で 29,315 本、また 200 mL 換算で 103,738 本供給しており、昨年度より供給本数が減少している。

○県内における血液製剤の供給状況

（上段:200 mL換算本数、下段:実本数）

	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
全血製剤	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
赤血球製剤	46,079 (23,578)	42,984 (21,944)	43,406 (21,997)	42,123 (21,387)	39,894 (20,214)	40,320 (20,418)	40,182 (20,270)	41,910 (21,085)	41,132 (20,667)	39,776 (19,948)
血漿製剤	20,805 (5,743)	18,320 (4,976)	20,254 (5,303)	15,269 (5,330)	13,940 (4,893)	14,321 (5,016)	13,308 (4,702)	13,017 (4,586)	13,010 (4,544)	12,227 (4,193)
血小板製剤	57,185 (5,718)	58,560 (5,856)	53,561 (5,358)	57,460 (5,746)	56,026 (5,634)	49,200 (4,920)	49,470 (4,947)	53,700 (5,370)	51,590 (5,159)	51,735 (5,174)
合計	124,069 (35,039)	119,864 (32,776)	117,221 (32,658)	114,852 (32,463)	109,860 (30,741)	103,841 (30,354)	102,960 (29,919)	108,627 (31,041)	105,732 (30,370)	103,738 (29,315)

(注１)換算本数は、400mL 由来製剤＝×２、２単位＝×２、５単位＝×５、10 単位＝×10、15 単位＝×15、
20 単位＝×20 により算出
(注２)令和５年度データは、日本赤十字社ホームページに公表の「全国血液センター供給本数速報（Ⅱ）
令和５年４月～令和６年３月分累計」より算出



200 mL 換算供給本数の経年推移